

令和4（2022）年2月1日

保護者様 家庭数配布

吹田市立山田第一小学校
校長 速水素子

令和3年度学校教育アンケート結果のお知らせ

平素より、本校教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、11月に保護者を対象に実施いたしました、学校教育アンケートにご協力をいただきありがとうございました。結果がまとまりましたので、児童を対象とした学校教育アンケートと合わせてご報告させていただきます。このアンケートは本校の教育活動について皆様方より広く考えや思いを伺い、見直し及び改善すべきところを明確にし、今後の教育計画や教育活動・学級経営に反映させるためのもので、毎年実施しています。今年は92.3%の保護者から回答をいただきました。皆様のご期待に応えるべく、教職員一同さらに努力してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。



学校教育アンケート（保護者対象）

「子どものことについて先生に相談しやすい」
「学校の教育方針や行事、活動などの様子をよく知っている」

今年度も92.3%の良い評価をいただきました。今後も学校と家庭の連携を密にとりながら、保護者の皆様と信頼関係を築き、教育活動の充実に努めて参ります。お子さまのことで相談がある場合には、連絡帳で担任へ連絡していただくか、学校へも足をお運び下さい。学校で担任、学年、保健室の先生などいろいろなケースに応じて相談できます。また、市の教育関係者や専門機関と連携する方法もありますのでご相談ください。また、電話対応時間を8時から17時30分までに設定させていただいている中、日頃より、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。学校と家庭の連携についての方針はこれまで通りです。今後ともよろしくお願い致します。

山田第一小学校は学校生活の様子について、ほぼ毎日ホームページを更新しています。昨年度に続いてコロナ禍により学校へのご来校の回数が少なくなりました。しかし、子どもたちの日々の活動・学習の様子を写真とともに「山一小ニュース」で掲載しています。コメントも楽しく読んでいただけたと思っています。学校教育方針等も併せてご覧くだされば幸いです。

「学校は、発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識（いじめをなくす等）をそだてようとしている」

昨年度と同様、92.7%の肯定的な評価をいただきました。昨年度から吹田市で「いじめが起これにくい学校づくり」に取り組み、今年度も全学年でいじめ予防授業も行いました。また、いじめの早期発見や早期対応を目的とした生活アンケートを毎学期に実施し、子どもたちの様子を把握しております。また人権教育については障がい者理解、平和学習、国際理解教育等、年間学習指導計画のもと、子どもたちが多様な価値観に向き合えるように計画的に取り組んでいます。いじめは、どこの学級でも起こりうるという認識のもと、日常的な子どもの観察を丁寧に行うとともに、発生時には組織的に対応し、聞き取り・指導等、再発防止に向けた取組を進めて参ります。

「学校は保護者や地域の方が授業を参観する機会を設けている」
「学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会を設けている」
「学校から地震や台風などの非常時の対応について知らされている」

今年度もコロナ禍で子どもたちの様子を参観していただくことや保護者や地域の皆様と話をする機会を持つことが限られ、60.8%という回答をいただきました。しかし、その中でも緊急時引き渡し訓練等の安全教育の実施や1学期と2学期の個人懇談、そして学年ごとの運動会を行うことができました。新型コロナ感染拡大防止の観点より今年度も来校者を限らせていただきました。また、メールを活用することでできる範囲でお知らせを行いました。限られた機会の中で、教育活動の継続と感染症予防の両立ができましたのも保護者や地域の皆様のご理解・ご支援のお陰と感謝しております。今後はさらに様々な機会を通して、開かれた学校づくりや子どもたちの安全についての教育活動を行っていきたくと考えています。

「学校では、子どもに関する個人情報を守られている」

昨年に引き続き、96.1%の高い評価をいただいています。基本的人権である個人利益侵害の防止の観点から、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っております。ご家庭におかれましても各種調査票や「大切な手紙用封筒」の取り扱い等、ご協力をお願いします。

「学校への願いはどんなものですか」「学校はその願いに応えている」

「友人や先生と良好な人間関係」の項目が最も高く、続いて「元気で通える学校」「心の教育」「学力の向上」「生きる力」の順になりました。若干の数値の増減はあるものの、昨年度と全く同じ順番となりました。豊かな人間関係が築けることは学校生活においてとても大切なことです。また、「学力の向上」は学校にとっても大切な課題でもあります。「学校はその願いに応えている」の項目では、今年も92%の高い評価をいただきました。授業においても基礎・基本的な学力とコミュニケーション能力の育成を目指して、各教科等で計画的に取り組んでまいります。今後も子ども一人ひとりを大切に「生きる力」が育めるよう教育活動の工夫をしてまいります。

「子どもと『食』に関する話をしている」

食育について保護者と共通理解のもと教育活動を進めるために設けています。肯定的な回答が89.1%と昨年度よりも高い結果となりました。子どもたちが食に関する正しい知識とバランスの良い食を選択する力、健全な食生活を実践できる力を身に付けることができるよう、学校では家庭科や特別活動の時間を利用して「食育」に取り組んでいます。また給食の紹介に栄養クイズを取り入れる等、子どもたちが食に興味を持てる取組も引き続き行っています。



「北山田小学校や山田東中学校の現状についても知っている」



今年度も「自分で考え、表現し、行動していく子」を共通目標に据えて山一幼稚園を含めた一園三校で取組を進めています。しかし、55.7%の回答でした。三校一園の取組として「生活指導の基本」を「あいさつ・ベル着・清掃」の項目で統一するとともに長期休みの過ごし方について共通の指導を行っています。また、幼小中一貫教育担当者が、webによる月1回会議で、各校園の情報交換を行い、日々の生活指導に生かしています。1Fに北山田小・山田東中・山一幼の学校園だよりを掲示していますので是非ご覧ください。



学校教育アンケート（児童対象）より

基本的な生活である朝食は95.5%の児童がほぼ毎日朝食を食べて登校しています。昨年度よりやや減少しています。朝食は元気、やる気の源です。元気に登校できるようにご家庭でのご協力をお願いします。

「学校にもってくるものをほぼ毎日確かめている」の項目は確かめている児童が75.3%と昨年より増加しました。前日には、次の日の持ち物の確認を行う習慣を継続してほしいです。しかし9.8%の児童は確かめていないため、忘れ物につながっていると考えられます。学力の低下につながりますので、ご家庭でも声掛けをお願いします。



家庭学習の時間は、「30分から1時間」の割合が42.8%、「1時間から2時間」は21.2%、「30分より少ない」は23.7%となりました。30分未満の児童が昨年度とほぼ同じです。家庭学習の定着のためにも時間を決めて、取り組む習慣をつけてください。

「いじめはいけないこと」は、今年度から新たに追加した項目です。97.2%の児童がいけないことだと自覚しています。いじめ予防授業や日常の指導を通して意識や実践力を高めてほしいと願っています。

「先生に相談しやすい」の項目は、75.3%が肯定的な回答でした。しかし、高学年になるにつれて相談しにくい傾向が見られます。学級等での様々な様子をしっかりと見つめ、小さな変化を見逃さないように努力していきます。



「給食をすききらいなく食べていますか」の項目は、肯定的な回答が91.5%となり、昨年度よりもよい結果となりました。食生活の乱れは、肥満・痩身や体力低下、そして学力低下にも関係していると言われています。学校では食育、給食を中心に改善に努めていきます。ご家庭におかれましても、食事の大切さや栄養のバランス等についてお子さまと話す場を設けていただければ幸いです。



就寝時刻については、54.5%の児童が9時前か9時台に就寝しています。11時以降に就寝している児童は10%と昨年度から少し増加しました。睡眠時間を十分確保し、気持ちよく一日がスタートできるようにご家庭でのご協力をお願いします。

テレビやゲームなど、2時間までと決めている児童は61%となり昨年度より良くなっています。しかし、3時間以上している児童は21%で全体的に増加傾向にあるようです。コロナ禍で遊びに制限をとまなうこともあると思いますが、テレビの見方、ゲームをする時間などご家庭で話し合い、ルールを決めて取り組むようお願いします。

「授業が分かりやすい」は87.2%で少し改善が必要です。授業が分かりにくいと感じている児童については引き続き個に応じたきめ細やかな指導を行います。

「学校が楽しい」は91.9%で昨年度とほぼ同様に高い評価でした。コロナ禍でさまざまな行事が中止・縮小となりましたが、児童は限られた行事や日常生活で学校生活を楽しんでいるようで安心しました。一日でも早く通常の学校生活が送れるようになってほしいと願っています。



「自分にはよいところがあると思いますか」の項目では、肯定的な回答が76.2%となり昨年度より改善されました。しかし、児童の中には、目に見える学力で自分を評価していることがみられることがあります。自分の存在を認める感覚を自己肯定感と言い、それを育むために、互いの良さを認め合う学級づくりや、生活や授業を振り返って自己評価や他者評価を取り入れながら共に成長できる温かな学校づくりに取り組んでいます。ご家庭におかれましても児童の自尊感情が高められるように「次の活動へのステップ」となるような前向きな言葉かけをお願いします。